

平成27年度

中学校ブロックジョイントプラン

—小中一貫教育推進計画—

【小中一貫教育校(施設分離型)】

- 宇治中学校ブロック (菟道小・菟道第二小)
- 北宇治中学校ブロック (小倉小・北小倉小)
- 槇島中学校ブロック (槇島小・北槇島小)
- 西小倉中学校ブロック (南小倉小・西小倉小)
- 西宇治中学校ブロック (神明小・伊勢田小)
- 南宇治中学校ブロック (西大久保小・平盛小)
- 広野中学校ブロック (大久保小・大開小)
- 東宇治中学校ブロック (三室戸小・南部小・岡屋小)
- 木幡中学校ブロック (木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小)

【小中一貫校(施設一体型)】

- 黄檗中学校ブロック (宇治小)

目次

○宇治中学校ブロック（菟道小・菟道第二小）	… 1
○北宇治中学校ブロック（小倉小・北小倉小）	… 3
○槇島中学校ブロック（槇島小・北槇島小）	… 8
○西小倉中学校ブロック（南小倉小・西小倉小）	… 11
○西宇治中学校ブロック（神明小・伊勢田小）	… 14
○南宇治中学校ブロック（西大久保・平盛小）	… 20
○広野中学校ブロック（大久保小・大開小）	… 24
○東宇治中学校ブロック（三室戸小・南部小・岡屋小）	… 28
○木幡中学校ブロック（木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小）	… 32
○黄檗中学校ブロック（宇治小）	… 36

平成27年度 宇治中学校ブロック ジョイントプラン

ー 小中一貫教育推進計画 ー

宇治市立	宇	治	中学校	校長	松崎	満
宇治市立	菟	道	小学校	校長	今西	義
宇治市立	菟	道第二	小学校	校長	荻野	修司

小中一貫教育コーディネーター

宇	治	中学校	氏名	藤本	いずみ
菟	道	小学校	氏名	飯田	晴孝
◎菟	道第二	小学校	氏名	山田	健

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

- (1) 教育目標
ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成
- (2) めざす児童生徒像
ア ともに学び、考える児童生徒
イ たくましく生きる児童生徒
ウ 笑顔を大切にする児童生徒

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

- (1) 小中教員による合同の授業研究を人権・道徳部、外国語・英語部、授業づくり部、宇治学部の4つの専門部で実施する。
- (2) 小学生が中学校の部活動を体験できる取組（ふるさと宇治21）を推進する。
- (3) 専門部会の進捗状況を宇治中学校ブロックの全教職員に、より周知できるよう、各部の討議・検討内容をまとめた「合同研修会のまとめ」を職員会議の連絡事項に盛り込み、口頭で紹介する場を設ける。
- (4) 小中一貫教育の取組をホームページ等で紹介し、保護者・地域へより一層の啓発を図る。

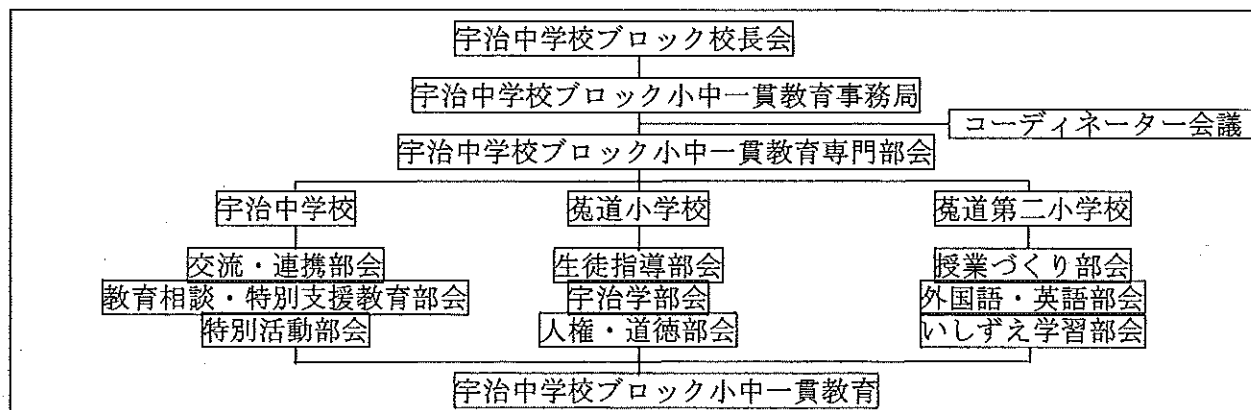
3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
全体会並びに9つの専門部会を組織する。年4回の合同研修会を行う。第4回合同研修会では各専門部会で総括を行い、それをもとに事務局会議で全体総括並びに評価を行う。結果をまとめ、各校の職員会議で提示する。
- (2) 中学校ブロック推進体制の充実
各校の校長、教頭、小中一貫コーディネーターで事務局会議を組織する。合同研修会の前にコーディネーター会議で立案したものを事務局会議で検討し、取組を推進していく。
- (3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
本年度は、授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会の4つの専門部会において、公開授業研究会（事前研→研究授業→事後研）を実施する。
また、授業づくり部会、いしずえ学習部会において、小学校から中学校への円滑な接続を意図した学習への取組パターンや家庭学習への取組を積極的に行う。
- (4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
これまでに行ってきた交流事業（クラブフェスティバル・駅伝合同練習等）の内容を精査し、より効果的な方法を検討・実施していく。
- (5) 家庭・地域社会との連携
小中一貫教育校だよりやホームページを積極的に活用し、取組の紹介をするとともに、中学校教員が小学校に出向き、6年生保護者に向けて「中学準備講座」を開催したり、毎月の宇治中学校の学校だよりを配布することにより、保護者や地域への啓発に努める。
- (6) 各中学校ブロック独自の目標
ア 小中教員による合同の授業研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践の向上を図る。
イ 中学校の部活動を小学生が体験し、中学校生活及び将来に向けて夢や希望が持てる取組を推進する。

4 平成27年度の実施計画

- (1) 重点目標に係る取組
 - ア 推進体制の充実について
 - ・全体会と9つの専門部会で組織する。
 - ・全教職員の共通理解を図るため、各校の職員会議で「合同研修会のまとめ」を提示し、口頭で内容を確認する。
 - ・宇治中学校ブロックの教職員全員が小中一貫教育に関わる「小中合同研修会」を年4回開催し、各専門部会において課題解決に向けた取組を検討し、推進する。
 - ・毎月1回、二小一中校長会を開催する。
 - イ 授業研究会の充実について
 - 授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会の4つの専門部会で授業研究を行う。夏季研修会の専門部会で事前研、第3回研修会で公開授業並びに事後研を行う。
 - ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について
 - 宇治スタンダードを活用した授業の実践・検証を行う。
 - エ 宇治学の授業創りについて
 - 小中連携を意識した研究授業を通して、小中教員間で授業のあり方を検討する。
 - オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について
 - 「ふるさと宇治21」（6月13日（土）・12月12日（土））をはじめとする諸行事に、地域の方、保護者の積極的な参加を促す。
- (2) 教職員が交流する取組
 - ア 宇治中学校ブロック小中合同研修会（6/15、8/20、10/28、1/27）。
 - イ 小中合同授業研究会（授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会）
 - ウ 小中教科連携教員による小学校外国語活動の指導
 - エ 教職員に向けた各校学校だよりの配布
- (3) 児童生徒が交流する取組
 - ア 小学生の中学校半日体験入学（11/11）
 - イ 中学生の小学校における職場体験（6/10～11）
 - ウ 中学生陸上部員・担当教師による各小学校児童への駅伝指導
 - エ 中学生吹奏楽部員・担当教師による菟道小学校鼓隊クラブへのマーチング指導
 - オ 中学校吹奏楽部の菟道第二小学校での演奏
 - カ 「ふるさと宇治21」での小学生の中学校部活動体験
 - キ 各小学校における中学校各部による出前部活動体験
 - ク 小学6年生への中学校生徒会からの卒業祝いメッセージの取組
- (4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組
 - ア 専門部会（宇治学部会）において指導内容の交流や小中9年間の系統性を持たせたカリキュラムの検討
 - イ 専門部会（いしずえ学習部会）における家庭学習の交流・指導内容及び方法の検証
- (5) 保護者・地域向け啓発計画
 - ア 小中一貫教育校だよりの発行（学期1回）
 - イ 小中一貫教育啓発掲示板の活用（各小中学校に設置し、各小中学校の学校だより等を掲示）
 - ウ 各校ホームページや学校だより等における小中一貫教育の取組等の紹介
 - エ 小学校6年生への「宇治中学校学校だより」の配布
 - オ 小学校における宇治中学校教員の「中学準備講座」の開催
- (6) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）
 - ア 「ふるさと宇治21」では、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々がそれぞれの立場から積極的に参加する。
 - イ 小中連携による「校区としての家庭学習の在り方」を検討する。
 - ウ 小学校6年生に対する「春休みの宿題」の配布を検討する。

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



平成27年度北宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立北宇治中学校 校長 松元 伸祥

宇治市立北小倉小学校 校長 藤井 宣夫

宇治市立小倉小学校 校長 伊藤 剛

小中一貫教育コーディネーター

(北 宇 治)中学校 職名 教諭 ◎氏名 有山 明利

(北 小 倉)小学校 職名 教諭 氏名 澤山 恵美

(小 倉)小学校 職名 教諭 氏名 富田 有子

1 中学校ブロックにおける教育目標・めざす子ども像

教育目標「質の高い学力を目指し、授業改善をすすめる」

(めざす子ども像)

- ・ 自ら考え、自発的に表現できる子 (知)
- ・ 人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子 (徳)
- ・ 運動に親しむことにより、楽しく生活できる子 (体)

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点 (各中学校ブロックにおける重点取組)

(1) 小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。→ 中間層の引き上げの重点化

学力向上のための方策を研究する (小中一貫の視点から、日々の授業技術の向上や学力定着のための具体的方策を探り実践していく)

☆小中9年間を見通した学びを意識し、小中合同で組織化して取り組む

①学力部 (日常的活動) …全員が所属 (チーフコーディネーター以外)・複数の企画推進担当の設置

- ・ 的確な学力の分析 (学力分析係)
- ・ 学習意欲を喚起する質の高い授業の創造 (授業改善係)
- ・ 家庭学習の定着 (家庭学習係)
- ・ 学習規律の定着 (学習規律係)
- ・ 学習取り組み困難者に対する手立ての検討 (特別支援・教育相談係)

②授業部 (シーゾンの活動) …全員が所属・全教科で授業を実施、小中合同で指導案作製

(2) 小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。

(3) 保護者や地域住民に積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信していく

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進体制や計画・取組についての点検・評価の実施

機能的な組織運営

- ・ コーディネーター会議を原則月1回程度開き、調整する。
- ・ 企画会議を中心に原案を練り、それに基づいて各係が教職員の具体的な動きをつくり、小中一貫教育を推進する。

(2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実

各係会における「顧問」の設置 (各小中学校校長・教頭が担当)

- ・ 授業部会では、各自がいずれかの教科に所属する。
- ・ 学力部会も各自がいずれかの係会に所属する。(各校の管理職が顧問として各係会に所属)

- ・各部、係会で各校1名の代表者を決め、代表者会が各顧問の助言を受けながら中心となって部会運営を行う。(各部、係会の中学校代表が各顧問と連絡を取る)

(3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

9年間を見通した学習指導・生徒指導のあり方を研究する。

- ・学力診断テストや学力調査などの結果を基にしながら、北宇治中学校ブロックの児童・生徒の学力分析を行い、9年間を通してつけるべき学力の重点や課題を探る。
- ・小、中学校での実践を交流しながら、それぞれの校種における授業での長所を取り入れながら、新たな授業の創造や改善につなげていく。
- ・小中学校における学習規律のありかたを交流しながら、中学生活における基準を基本とし小学校生活と中学校生活の円滑な接続が図れるように研究していく。
- ・9年間を見通しに立って、小中学校間における生徒指導面での交流を積極的に進めていく。

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

小中合同授業研究

- ・合同授業研究に向け小・中学校教員が協働し、指導案づくり等を通して小中一貫教育の視点を持って指導方法や教材研究等の交流を行う。(合同授業研究会は北小倉小学校で実施)

学力の実態把握と分析

- ・京都府学力診断テスト、全国学力・学習状況調査等の結果を活用し、学力実態の分析を学力向上に生かす。
- ・各校の「いしずえ学習」の取組を交流し児童生徒の基礎基本の確実な習得・定着を図る。

カリキュラム作成における連携

- ・9年間を見通した年間指導計画を活用し、系統的継続的学習指導の充実を図る。
(カリキュラムの交流及び検討)

児童・生徒の交流

- ・学校行事や対外行事、地域ボランティア活動、児童会・生徒会活動を通して、児童・生徒の交流を通して、小小連携、小中連携をすすめる。
- ・小学6年生を対象にした半日入学の取組を実施する。

(5) 家庭・地域社会との連携

小中一貫教育連携ニュースの発行

- ・保護者向け小中一貫教育ニュースを学期1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介していく。
- ・他の広報紙発行等を行い、ブロック内の小中一貫教育の取組の情報発信を適切に行う。

合同講演会の取組

- ・ブロック内保護者、地域住民、教師が一堂に会し、児童・生徒の健全育成のために、何をすべきかを考える場としての合同講演会を設定し、小中一貫教育の取組を地域に根ざしたものにしていく。(10/31(土) 小倉小学校：授業参観後1時間程度・馬見塚先生講演予定)

家庭学習の取組

- ・平成26年度に発行した「家庭学習のすすめ」を活用し、保護者の協力を得つつ、家庭学習の時間を増加させることで学力の向上を図る。

(6)各中学校ブロックの目標

- ・小中一貫教育体制を学力向上を中心とした取組に特化することにより、学力中位層・低位層の引き上げを重点的に行っていく。

4 平成27年度の実施計画

(1)重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

4月24日(金) 第1回 小中一貫教育推進委員会 (北宇治中学校)
前年度の振り返り、本年度組織図の確認、ジョイントプランの確認

5月下旬 学力部会、授業部会のメンバー確認

イ 授業研究会の充実について

6月15日(月) 小中一貫教育推進第1回総会 (北宇治中学校)
14:30~16:40 (授業参観後) 学力部会 (取り組み内容や年間計画等の討議・確認)

6月下旬~ 第2回 小中一貫教育推進委員会

8月上旬 授業部会の討議の柱の確認
授業部会の各校代表者、顧問の打ち合わせ
合同研の内容確認、授業者打ち合わせ日程の調整

8月上旬~中旬 合同研、各授業会等の打合せ (必要に応じて)

8月20日(木) 小中合同研修会第2回総会 (北宇治中学校)

9:00~9:20 全体会 (開会)
9:30~11:00 授業部会 研究授業の指導案づくり
11:00~12:00 全体会 (各部会報告・閉会)

10月23日(金) 小中一貫合同授業研究会 (北小倉小学校)

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

小中合同授業研究の実施

- ・合同授業研究に向け、小・中学校教員が指導案づくりも含めた小中一貫教育の視点を持った指導方法や教材研究等の交流を行う。

学力の実態把握と分析

- ・小中学校を通して学力実態の分析を行い、9年間の見通しを持った学力向上を目指す。
- ・各校の「いしずえ学習」の取組を交流し児童生徒の基礎基本の確実な習得・定着を図る。

カリキュラム作成における連携

- ・9年間を見通した年間指導計画を活用し、系統的継続的学習指導の充実を図る。
(カリキュラムの交流及び検討)

児童・生徒の交流

- ・学校行事や対外行事、地域ボランティア活動、児童会・生徒会活動を通して、児童・生徒の交流を通して、小小連携、小中連携をすすめる。
- ・小学6年生を対象にした半日入学の取組などを実施することにより、中一ギャップの解消を図る。

エ 宇治学の授業創りについて

- ・重点単元題材、テーマを意識して各学年で共通して学ぶ重点単元を設定し、副読本導入を前提とした授業創りを進めていく。
- ・各学年の中でも本年度は特に、小学校3年では「宇治茶」、小学校6年では「大好きなまち宇治（観光等）」を重点的に取り上げ、授業の創造を推進していく。

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

10月31日(土) 小中一貫教育合同講演会 (小倉小学校 体育館)
11:00~12:00 講演 「 内容未定 」
講師 臨床心理士 馬見塚 珠生先生

(2) 教職員が交流する取組

授業参観の取組

5月20日(水) 北宇治中学校 → 槇島小学校
6月15日(月) 小倉小学校、北小倉小学校 → 北宇治中学校
10月15日(木) 北宇治中学校 → 小倉小学校
10月23日(金) 北宇治中学校 → 北小倉小学校 (合同授業研)

(3) 児童・生徒が交流する取組

12月 小中合同クリーンキャンペーン
12月 小中合同共同募金の取組
1月中旬 児童会生徒会交流会
2月初旬 書き損じハガキの取組

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・「いしずえ学習」においては小中学校間の連携を積極的に進め、さらに有意義なものにして学力の定着をはかっていく。
- ・「宇治学」の取組においては、段階的な副読本の導入を踏まえ、さらに充実した内容のものになるよう、一層の研究、研修を進めていく。

(5) 保護者・地域向け啓発計画

2学期 家庭学習についての保護者・地域学習会

(6) その他

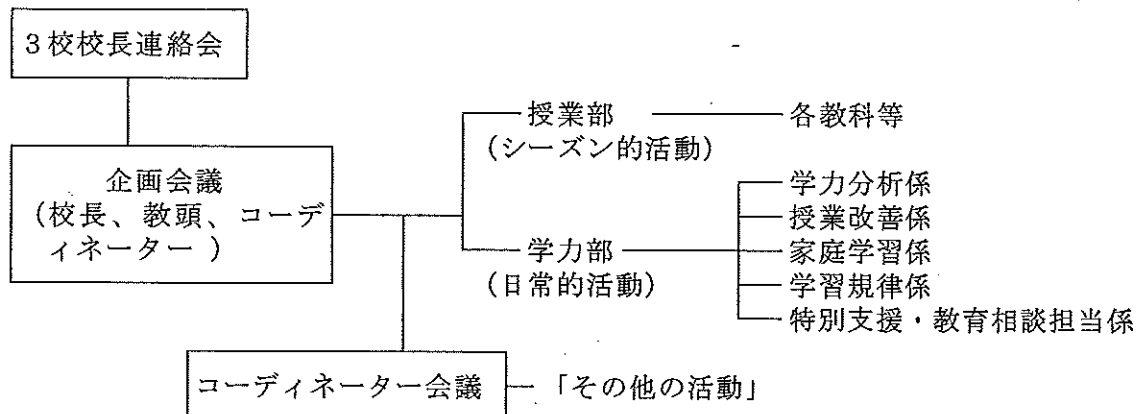
北宇治中学校ブロックの授業改善に向けての4つの視点

- ・基礎・基本の学力の定着を図る (いしずえ学習)
- ・実施校の重点研究を生かす (自ら学び、自ら考え、表現できる子を目指す授業)

- ・子ども達の主体的な授業参加を目指す（学びあう活動・学習意欲を継続させる授業）
- ・授業規律を維持する

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図

H27年度 組織体制…組織図、構成



授業部 全員所属、授業実施にあわせて全教科で授業することを基盤とする組織で、小中合同で指導案づくりを行う。

学力部 チーフコーディネーター以外全員所属、質の高い学力を目指すための組織で各係の中に、さらに企画推進担当（複数）を置く。
 児童・生徒会等の取組等は、「その他の活動」の中で継続する。
 チーフコーディネーターは、部内等の活動がスムーズに行われているかチェックする。コーディネーターはそれをサポートする。

平成27年度 榎島中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立榎島中学校 校長 大槻 政己
 宇治市立榎島小学校 校長 川合 早苗
 宇治市立北榎島小学校 校長 芦田 定雄

小中一貫教育コーディネーター

(榎島)中学校 職名 教諭 氏名 西川 光二
 (榎島)小学校 職名 教諭 氏名 芦田 吉生
 ◎(北榎島)小学校 職名 教諭 氏名 坂上 敬宣

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中一貫教育目標 「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」
 めざす子ども像 心身共に健康で、明るく活動する子
 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

平成20年度から研究を進めてきた小中連携・小中一貫教育の成果や課題を踏まえて、教科・領域での様々な学習場面や生徒指導、特別支援教育等での系統的・統一的な指導の充実を図り、小中一貫教育目標を実現するための具体的な取組を推進する。また、中学校ブロックで家庭・地域・学校間で連携する取組を積極的に進める。

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 小中連携・小中一貫教育の成果や課題を踏まえて作成した小中一貫教育の計画を、めざす子ども像に迫る取組へ充実・改善を図る視点を持ち、児童生徒や地域の実態に応じた実践・検証を進める。
- (2) 中学校ブロック推進体制の充実
 「夢・未来」会議を推進の要とした組織体制の中で、小中一貫教育の取組や各部の研究実践を推進する。教職員広報を発行し、小中一貫教育推進に関わる情報を発信し、小中学校の教職員の共通理解を図りながら、取組を推進する。
- (3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 9年間を見通すことのできる教科の年間指導計画〔宇治スタンダード〕を活用し、児童生徒の発達の段階に応じた系統的・継続的な学習指導を推進する。
 小中の接続をスムーズに行えるよう、綿密な連携や研究・研修を推進する。
- (4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ア 小学生の中学校体験入学
 中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つために、中学校での授業体験と部活動体験を行う。
 - イ 中学生の職場体験
 榎島中学校の2年生が、榎島小学校と北榎島小学校で、朝の児童の登校を迎えるあいさ

つや、学級での授業支援、休み時間や給食時間での児童との交流、環境整備など、様々な活動を体験する。

ウ 小・中学生の主張交流会

横島中学校の「中学生の主張」学年代表と、北横島小学校6年生の「将来の夢」学級代表が発表し、交流する。横島小学校の6年生は、その様子を映像で鑑賞する。

エ 中学校文化祭演劇の鑑賞

横島中学校文化祭の演劇発表を北横島小学校5年生が鑑賞する。

(5) 家庭・地域社会との連携

小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行(保護者配布・地域回覧)やHPへの掲載、各校の情報誌での小中一貫教育目標やめざす子ども像、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育に向けた取組や研究を積極的に情報発信する。また、学校・地域行事で、児童生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定する。

(6) 「各中学校ブロック独自の目標」

○義務教育9年間の系統的・継続的な指導で、子どもに確かな学力や生きる力を身に付ける。

○義務教育9年間+αの連携で、家庭・地域と共に子どもを育てる。

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進体制の充実について

- 横島中学校ブロック校長会
- 「夢未来」会議(各校校長・教頭・教務主任)
- コーディネーター会議
- 小中合同部会・教科部会

イ 授業研究会の充実について

- 小中合同研修会(6月17日・8月18日・11月20日)
- 小中合同部会・教科部会
- 小中合同公開授業研究会

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- 「夢未来」会議(各校校長・教頭・教務主任)、コーディネーター会議、各部会で、中学校接続に向けた授業研究、宇治スタンダードの検証を行っていく。

エ 宇治学の授業創りにについて

- 単元指導計画の整理：確認(実現可能かどうかの検証)

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- 北横島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8月1日)
- 北横島小学校区餅つき&クリーン運動(1月16日)
- 横島小学校区左義長(1月)

(2) 教職員が交流する取組

- 小学校授業公開(5月20日)
- 中学校授業公開(6月17日)
- 合同研究授業(11月20日)
- 合同研究部会(6月17日・8月18日・11月20日)
- 小中連絡会(6月9日・1月・3月)

- 榎島中学校ブロック教務主任会(8月・2月)
- 小中一貫教育連携教員(榎島中学校教員)による外国語活動の指導
- チーフコーディネーターによる2小学校の授業サポート
- 中学校ふり返り集中学習への小学校教員の支援(7月・8月)

(3) 児童生徒が交流する取組

- 小学生の中学校体験入学(11月11日)
- 中学生の職場体験(10月27日～29日)
- 陸上運動交歓記録会(10月9日)
- 小・中学生の主張交流会(3月)
- 児童会・生徒会のあいさつ運動

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- 「いしずえ学習」実施計画の実践による家庭学習を含めた学力定着サイクルの確立と家庭との連携の強化
- 「宇治学」実施計画の実践・検証による内容の充実

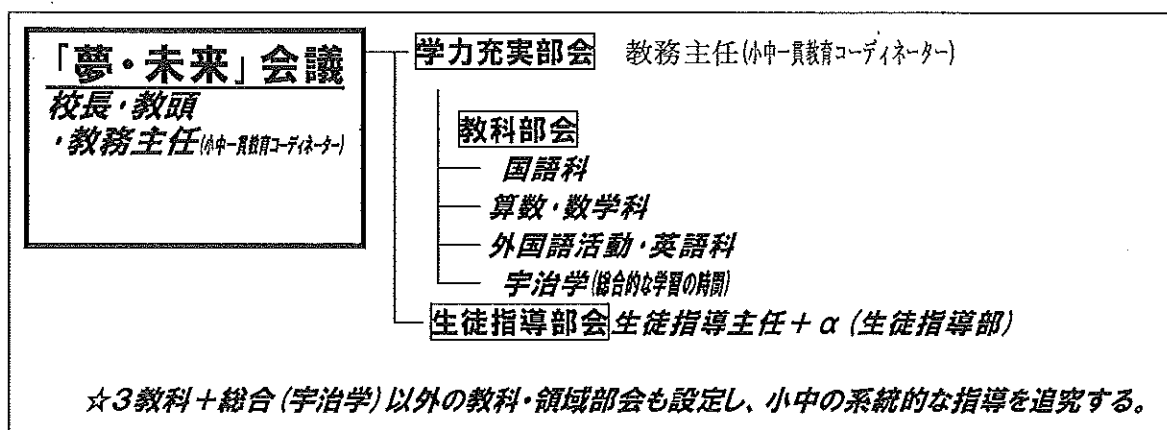
(5) 保護者・地域向け啓発計画

- 各校学校便りで小中一貫教育の取組を積極的に掲載
- 配布物に小中一貫教育目標やめざす子ども像を掲載
- 「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の発行
- 学校だより・「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の地域回覧
- 中学校の学校便りを小学校6年の児童、保護者に配布
- 家庭学習ナビゲーション(家庭学習の手引き)冊子の配布による家庭との連携強化

(6) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

- 榎島小学校の分散進学が残る状況を踏まえ、1小1中で進める取組と2小1中で進める取組を整理しながら進める。

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



平成27年度 西小倉中学校ブロック ジョイントプラン

ー 小中一貫教育推進計画 ー

宇治市立西小倉中学校 校長 山下 一也

宇治市立西小倉小学校 校長 飯田 康生

宇治市立南小倉小学校 校長 林 文康

小中一貫教育コーディネーター

(西小倉)中学校 教諭 山根 徳子

(西小倉)小学校 教諭 石津江勝彦

(南小倉)小学校 教諭 ◎手塚ゆかり

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の ゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ

・ゆたかな表現力と自分の考えを持ち 互いの思いを伝え合う子

・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子

・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

① 家庭学習の充実。自主学習ノートの取組

② 合同授業研究会の開催と教職員の授業力アップ

③ 保護者・地域との連携

④ 児童生徒交流

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施

・月1回程度のコーディネーター会議で合同研修会の計画や各部の活動状況を交流把握する。

・月1回の推進会議でコーディネーター会議の報告をし、計画・取組の評価をして次の手立てをとれるようにする。

(2) 中学校ブロック推進体制の充実

・月1回の推進会議を持ちコーディネーターで相談した内容を報告する。各校教頭がそれぞれ「学力充実・向上部」「生徒指導部」「児童生徒交流部」の担当に入り、部の責任者(コーディネーター)が相談しながら取組を進めていく。

(3) 系統的・継続的学習指導・生徒指導の充実

・教科連携加配(体育)の中学校教員による小学校6年生の指導や、小学校高学年における教科担任制授業を推進し、教科担任制への円滑な移行を図る。「学力充実・向上部」「生徒指導部」「児童生徒交流部」の3部で、本ブロックの児童生徒の実態を交流し課題の解決に向けた取組を進める。また、生徒指導部会から提案されている「授業のきまり」を見直し改善する。

・児童生徒理解や規範意識の向上等の指導の道筋等を学ぶため、原清治教授(仏教大学)との共同研究を進める。

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

・年間2回の研修会、1回の合同授業研究会(西小倉小学校)、2回のフリー参観(西小倉中学校・南小倉小学校)を行い、授業改善・授業システムの共有化に取り組み、家庭学習の充実、自主学習の

取組実践に繋げる。

- ・自主学習ノートの活用により児童の学習への意欲を高め、学力の向上に繋げる。
- ・合同授業研を通じて、授業改善に取り組み、児童生徒の学習意欲の向上に繋げる。
- ・児童会、生徒会の本部役員の交流をはじめ、協働できる取組を企画、実施する。(体験入学・部活体験・職場体験や地域行事での交流、児童会生徒会合同の学習会・募金運動・あいさつ運動等)
- ・西小倉中学校のテスト週間における「ノーメディアウィーク」の取組を行う。

(5) 家庭・地域社会との連携

- ・家庭学習の充実に繋がる意識アンケートを必要に応じて実施する。
- ・「一貫教育だより」や「学校だより」、またHPにより取組を発信する。
- ・各校の「一貫教育コーナー」(掲示板)を充実させる。
- ・3校合同地域懇談会の実施

(6) 各中学校ブロック独自の目標

- 小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の ゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ
- ・ゆたかな表現力と自分の考えを持ち 互いの思いを伝え合う子
 - ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
 - ・健康に気を付け 自らの目標に向かってがんばる子

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・月1回 推進会議 コーディネーター会議を受けて計画・取組の評価を行う。
- ・月1回程度 コーディネーター会議 年間計画や各部の活動状況の把握を行う。
- 6月 9日(火)小中一貫教育推進第1回総会・小中一貫フリー参観 西小倉中学校
- 8月21日(金)小中一貫教育研究推進合同研修会・第2回総会 西小倉中学校
- 11月11日(水)小中一貫合同授業研究会 西小倉小学校
- 11月26日(木)小中一貫フリー参観 南小倉小学校

イ 授業研究会の充実について

- ・年間2回の研修会、1回の合同授業研究会を行う。西小倉小学校においては授業参観・合同授業研究会を行う。西小倉中学校・南小倉小学校においてはフリー参観を行う。共に授業改善・授業システムの共有化に取り組む。

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- ・宇治スタンダードに基づいて授業が行えるように支援をしていく。どの学年のどこにつながっているのか意識できるようにする。特に小学校高学年においては、中学校へのつながりを意識し、中学校においては小学校とのつながりを意識しながら授業できるようにする。
- ・事前・事後研において各学年での留意点等を記録し、引き継いでいく。

エ 宇治学の授業創りにについて

- ・3年生「お茶博士になろう」
- ・4年生「巨椋池の歴史調べや自然観察」
- ・5年生「巨椋池干拓田での稲作」
- ・6年生「宇治の歴史を調べよう」

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・7月1日(水)3校合同地域懇談会の実施

(2) 教職員が交流する取組

- ・西小倉小学校での合同授業研究会
- ・合同研修会での各部会
- ・西小倉中学校・南小倉小学校のフリー参観

(3) 児童生徒が交流する取組

- ・体験入学・部活体験・職場体験や地域行事での交流、児童会生徒会合同の学習会・募金運動・あいさつ運動
- ・各小学校の「子どもの居場所づくり事業」

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

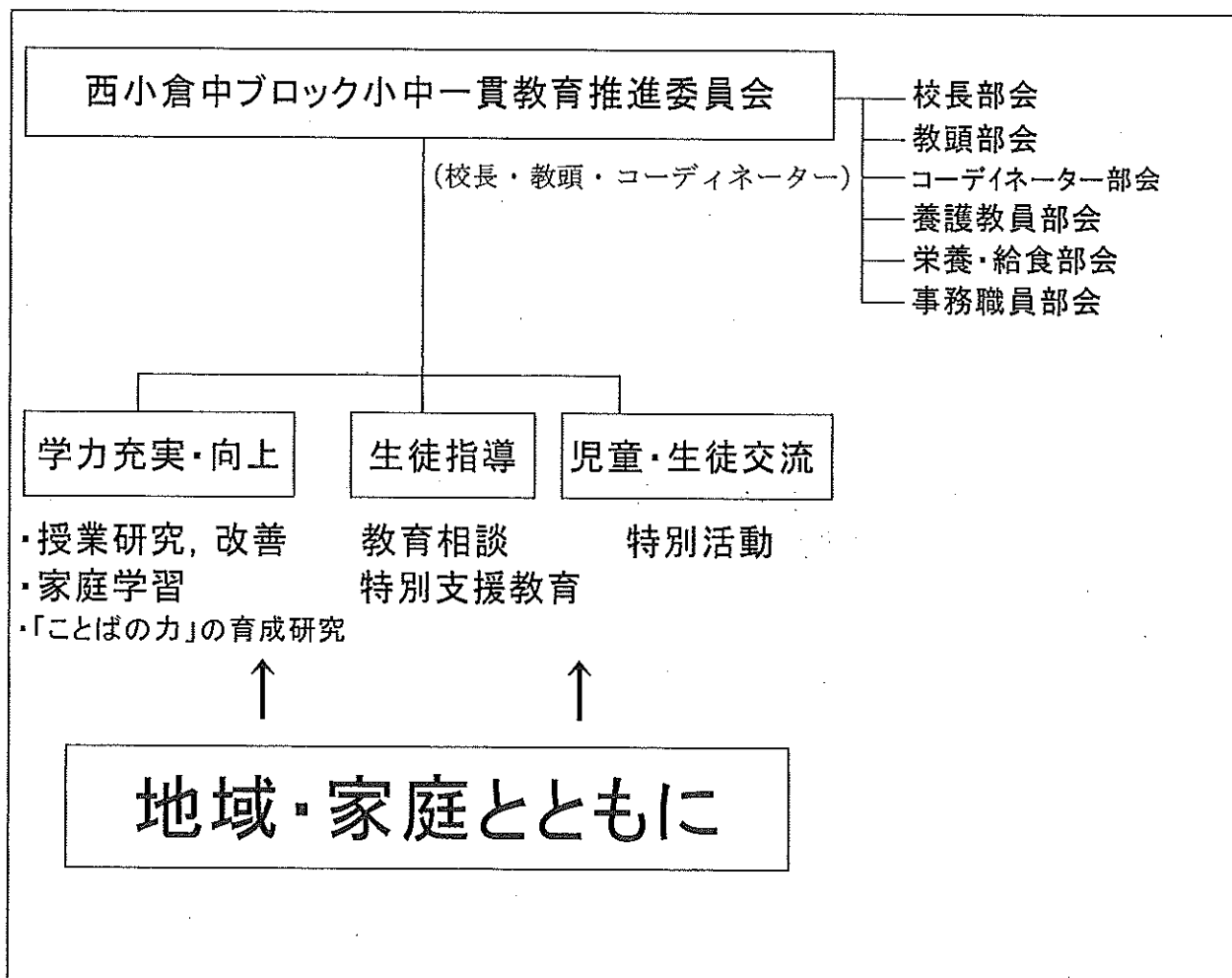
- ・基礎基本の徹底や「自主学習」「振り返り学習」を行うにあたり、随時いしずえ学習を取り入れる。
- ・西小倉中ブロック宇治学の指導計画に基づく活動を推進し、見直し改善する。

(5) 保護者・地域向け啓発計画

- ・各校の「学校便り」や校内の掲示板等に小中一貫教育コーナーを設け取組を発信する。
- ・「小中一貫教育推進ニュース」の発行(小・中学校の保護者配布)

(6) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



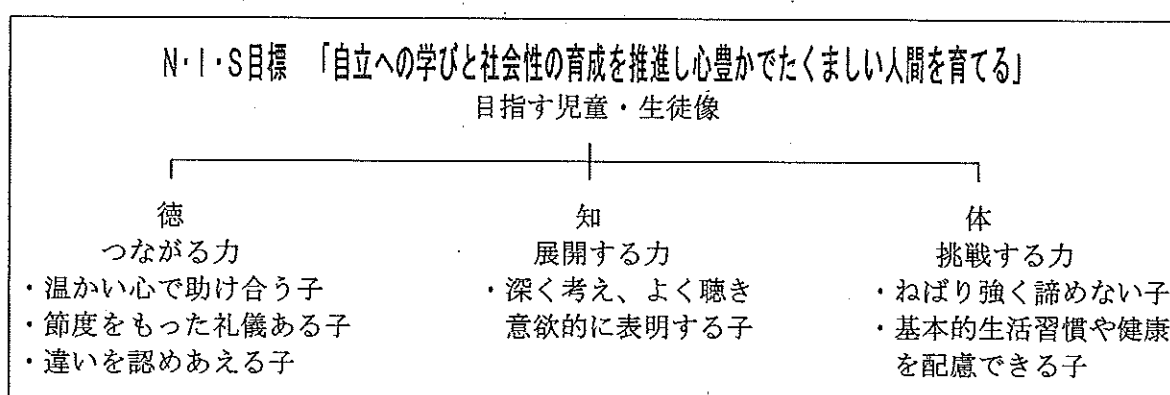
平成27年度 西宇治中学校ブロック ジョイントプラン
 — 小中一貫教育推進計画〈N・I・Sプラン〉 —

宇治市立西宇治中学校	校長	井戸	充
宇治市立伊勢田小学校	校長	東堂	光明
宇治市立神明小学校	校長	川上	博

小中一貫教育コーディネーター

◎西宇治中学校	教諭	田中	ちえ
伊勢田小学校	教諭	村上	瑠里
		坂	一真
神明小学校	教諭	小野寺	美栄子

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像



2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点

進路指導を見据え学力向上の取組を基本に置く

- (1) 合同研修会各教科部会の充実と発展・公開授業研究会の実施
- (2) 領域3部会機能の活性化
- (3) 小小連携の充実（中学進学に向け、共通取組による実態改善）
- (4) 相互連携授業の充実

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロックにおける小中一貫教育推進組織体制や、計画・取組についての点検・評価の実施
 - ・ブロック校長会を必要に応じ開催し、進行管理をする。
 - ・ブロック教頭会を必要に応じ開催する。
 - ・コーディネーター会議(月2回)、推進会議(月1回)を定期的に行い、本ブロックの取組内容及び成果を検証しつつ推進する。
 - ・領域3部会(学力充実部会・児童生徒理解部会・児童生徒交流部会)を定例で開催し、課題の共有化を図る。

(2) 中学校ブロック推進体制の充実

- ・コーディネーターを核とした推進会議による事業計画の具体化を行う。
- ・推進会議を受けて、領域3部会における取組を充実させる。
- ・コーディネーター会議を3校を回って開催するなど、児童の実態や状況を正確に把握し、小中の連絡調整や取組の改善・充実に努める。
- ・中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
教科連携教員による外国語授業を継続進行する。
小中合同研修会を設定（6月 8月 10月）する。
輪番制による公開授業研究を行う。
学力充実部会及び児童生徒理解部会における取組の具体化を行う。
相互連携授業においては、小学校教員における中学校での授業も検討する。

(3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・合同研修会において各教科部会を充実させ、昨年度の年間指導計画を改善する。

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

- ・コーディネーター会議において、本ブロックにおけるいしずえ学習、宇治学の指導計画をはじめとした取組を検証し、改善を図る。

(5) 家庭・地域社会との関係

- ・学期1回広報誌を発行する（コーディネーターが作成）。
- ・小中一貫教育掲示板を3校ともに見えやすい位置に設置し、内容の充実を図る。
- ・各校学校便りやHPで取組状況を広報する。
- ・中学校での授業参観実施時に小学校の保護者に参加案内を行う。

(6) 各中学校ブロック独自の目標

- ・チーフコーディネーターにその業務に専念できる条件（学年所属なし）を与えた。
- ・チーフコーディネーターを随時小学校へ派遣し、児童の実態把握、小中の連絡調整、相互連携授業を強化する。
- ・合同研修会各教科部会の一層の充実を図り、公開授業研究会を計画的に実施する。
- ・領域3部会機能を活性化する。
- ・小小連携を充実（中学進学に向け、共通取組による実態改善）する。
- ・相互連携授業を充実させる。

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・ブロック校長会を必要に応じ開催し、進行管理をする。
- ・ブロック教頭会を必要に応じ開催する。
- ・コーディネーター会議(月2回)、推進会議(月1回)を定期的に行い、本ブロックの取組内容及び成果を検証しつつ推進する。
- ・領域3部会(学力充実部会・児童生徒理解部会・児童生徒交流部会)を定例で開催し、課題の共有化を図る。

イ 授業研究会の充実について

- ・西宇治中学校ブロック合同研修会（8月21日）における、小中合同公開授業に向けての指導案等の検討
- ・伊勢田小学校における小中合同公開授業研究会（10月28日）

- ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について
 - ・小学校入学から中学校卒業までの9年間の児童生徒の教育活動に見通しを持った学習指導の研修
 - ・公開授業の実施とその後の研修会の実施
- エ 宇治学の授業創りにについて
 - ・中学校ブロックで作成した「宇治学」実施計画に基づいた学習を実施し、小中学校間で交流
- オ 地域・保護者を巻き込んだ取り組み
 - ・各地域行事への参加（夏祭りや左義長など）
 - ・地域懇談会における西宇治中ブロックとしての小中一貫教育実践報告
 - ・夏休みの地域パトロール
 - ・中学校オープンスクール
- (2)教職員が交流する取組
 - ・ブロック合同研修会（6月17日 8月21日 10月28日）
 - ・小中合同公開授業（10月）
 - ・領域3部会（児童生徒理解部会 学力充実部会 児童生徒交流部会）
 - ・相互連携授業（随時）
- (3)児童生徒が交流する取組
 - ・小学校を職場とした中学生の職場体験での交流（6月3～5日）
 - ・中学生による両小学校児童への部活動を生かした指導（各学期）
 - ・中学校合唱コンクールリハーサル参加（2学期・10月）
 - ・小学生の中学校体験入学（11月11日）
 - ・小中学校共同での「朝の挨拶運動」の拡充
- (4)「いしずえ学習」「宇治学」の取組
 - ・西宇治中ブロックとしての「家庭学習のてびき」活用
 - ・中1ふり返りスタディーへの小学校からの支援
 - ・中学校ブロックで作成した「宇治学」実施計画の実施・検証
- (5)保護者・地域向け啓発計画
 - ・広報誌発行（小中学校保護者配布、地域へ配布）
 - ・小中一貫教育啓発掲示板の充実
 - ・各校の学校だよりを他校へ配布（小5 小6 中1を対象）
 - ・各校HPでの広報
- (6)その他
 - ・西宇治オープンフェスタへの参加
 - ・小中一貫教育に関する校務パソコン活用（掲示板）による共有管理

西宇治中学校ブロック小中一貫教育推進会議

西宇治中ブロック校長会

ブロック教頭会

チーフ西宇治中コーディネータ

伊勢田小コーディネータ

神明小コーディネータ

領域3部会

児童生徒
理解部会

学力充実
部会

児童生徒
交流部会

国語

社会

算数

数学

理科

音楽

家庭

技術

図工

美術

体育

宇治学

外国語

英語

特支

生徒指導
特別支援
教育相談

西宇治中生徒会
伊勢田小児童会
神明小児童会

西宇治中学校ブロック全教職員

中学校は教科担当を基本に校務分掌を配慮
小学校は校務分掌を配慮しつつ可能な限り均等割

- (1) ブロック校長会とブロック教頭会、コーディネーター会議をもって推進会議を構成する。
- (2) コーディネーターは各校教員を組織し領域3部会を構成する
- (3) 各校教職員は領域3部会に組織される。
- (4) 教科部会は10教科部で構成する。

組 織 構 成

組織項目	役職名		氏 名	職 務	学 校 名
推進会議	ブロック校長会		井戸 充	校長	西宇治中学校
			東堂 光明	校長	伊勢田小学校
			川上 博	校長	神 明小学校
	コー ディ ネー タ 会議	児童生徒理解担当	田中 ちえ	コーディネーター	西宇治中学校
		学力充実担当	村上 瑠里 (坂 一真)	少人数指導担当	伊勢田小学校
		児童生徒交流担当	小野寺 美栄子	教務主任	神明小学校
	ブロ ック 教 頭 会	児童生徒理解担当	森 義明	教頭	西宇治中学校
		学力充実担当	福地 裕之	教頭	伊勢田小学校
		児童生徒交流担当	中井 良幸	教頭	神 明小学校
領域 3 部会	学力充実部会 (各教科部会担当)		星野 裕大	教諭	西宇治中学校
			利田 訓子	教諭	伊勢田小学校
			橋田 茂	教諭	神 明小学校
	児童・生徒理解部会 (各校生徒指導担当)		神尾 宜孝	教諭	西宇治中学校
			辻村 禎夫	教諭	伊勢田小学校
			廣瀬 美彦	教諭	神 明小学校
	児童・生徒交流部会 (児童会・生徒会担当)		川瀬 貴之	教諭	西宇治中学校
			澤田 圭太	教諭	伊勢田小学校
			黒崎 信治	教諭	神 明小学校

平成27年度の実施計画案

(1) コーディネーター会議の仕事

① 広報誌の発行（学期1回以上）	ブロックのニュース、進行状況等
② 月2回の打合せ会議	課題交流、情報交換、対応、検討等
③ ブロックジョイントプランの作成点検	
④ 事業計画の具体化	詳細、領域3部会へ、各校へ下ろす
⑤ コーディネーター部会の運営	

(2) 計画事業

期	月	児童・生徒	教 師	補 足
1	4		推進会議	方針等の検討
	5	職場体験	コーディネーター会議 三部会担当者会	合同研修会に向けて 児童・生徒交流
	6	あいさつ運動	コーディネーター会議 合同研修会17日（水）	児童・生徒理解部・学力充実部・児童 ・生徒交流部 児童会・生徒会交流
	7		コーディネーター会議 学力充実部会 ふり返りスティー交流 広報誌発行	夏季研修会に向けて 積極的に参加（中学校で） 随時発行
	8	伊勢田小夏祭り	夏季研修会21日（金）AM 推進委員会	児童・生徒交流 企画と運営（学力充実部） 2・3学期へ継続
2	9	中学校体育大会 あいさつ運動	コーディネーター会議	児童・生徒交流 児童会・生徒会交流
	10	文化祭合唱リハーサル見学 小学校運動会 あいさつ運動	コーディネーター会議 学力充実部会 最終リハーサル（ / ） 合同研修会28日（水）	公開授業研究会に向けて 児童・生徒交流 児童・生徒交流 公開授業含む 児童会・生徒会交流
	11	神明学区文化祭 部活動参加 児童会、生徒会合同取組	コーディネーター会議 西宇治中体験入学11日（水） 土曜参観（オープンスクール）	児童・生徒交流 児童・生徒交流 3校同時開催 募金活動、清掃活動、社会貢献等
	12	部活動参加 あいさつ運動	コーディネーター会議 広報誌発行	総括に向けて 中学（陸上部）が小学校駅伝出前指導 児童会・生徒会交流 随時発行
3	1	小小連携 あいさつ運動	コーディネーター会議 保護者向け授業参観	総括について サンガふれあい隊 積極参加 児童会・生徒会交流
	2	部活動指導	コーディネーター会議 推進会議	総括 総括・来年度に向けて 中学校から出前指導
	3		コーディネーター会議 広報誌発行	来年度への引き継ぎ事項について 随時発行

*コーディネーター会議は月2回開催 領域3部会も定例会をもつ

*推進会議は月1開催を目標とし、コーディネーター会議と同時開催も可能とする

*ブロック校長会 ブロック教頭会 は必要に応じて招集・開催とする

平成27年度 南宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立南宇治中学校	校長	秋元	恒志
宇治市立西大久保小学校	校長	塩尻	嘉明
宇治市立平盛小学校	校長	原田	繁

小中一貫教育コーディネーター

◎ (南宇治) 中学校	氏名	教諭	森田	佳慧
(西大久保) 小学校	氏名	教諭	俣野	岳
(平盛) 小学校	氏名	教諭	向井	毅

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

<南宇治中学校区小中一貫教育目標>

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

<9年間で育てたい力>

- (1) 自ら学び、共に学び合い、真理を探究する力
 - ① 授業規律の確立と基礎・基本の徹底
 - ② 言語活動の充実
 - ③ 学習意欲の向上
- (2) 豊かな心を持ち、人間関係を築く力
 - ① 集団の中での自己存在感の確立
 - ② 共感的人間関係を基盤とした教育活動の推進
 - ③ 思いやりや心づかいがあふれる実践的態度の育成
- (3) 生命を大切に、たくましく生きる力
 - ① 目標に向かって挑戦する意欲の高揚
 - ② くじけず、着実に歩む強い心の育成
 - ③ 自分や仲間の生命を尊重する態度の育成
- (4) 未来に向けた自分の生き方を求める力
 - ① 自分の良さや適性を伸ばし、自尊感情を高める取組の推進
 - ② 自分の目標を定めるための体験や学びの充実
 - ③ 児童・生徒の夢をはぐくむ学校・家庭・地域の連携

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

- (1) 児童生徒交流の取組の充実を図る。
- (2) ことばの力、コミュニケーション能力の育成を図る。

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 - ・コーディネーター会及び推進委員会の計画的実施
 - ・コーディネーター会及び推進委員会等における教科連携加配教員の効果的な活用
 - ・チーフコーディネーターの定期的な学校訪問

- (2) 中学校ブロック推進体制の充実
 - ・ブロック校長会をふまえ、コーディネーター会及び推進委員会の実施
 - ・ブロック校長会の指導に基づく推進計画の立案・改善充実
- (3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・公開授業参観の実施
 - ・事前研・事後研を含む授業研究の実施
 - ・授業規律の共有
 - ・小中教員が協働で指導案を作成し、ティームティーチング授業を実施
 - ・外国語活動英語部、学力充実部及び連携授業（理科）の年間を通じた交流、授業研究、学力分析
 - ・「宇治学」小小連携授業の実施
- (4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・小学6年生の授業体験・部活動体験の実施
 - ・中学生による小学生指導支援
 - ・小中合同地域清掃ボランティア活動の実施
 - ・児童会生徒会合同会議の実施
 - ・児童会生徒会合同あいさつ運動の実施
 - ・両小学校での帰国外国人児童生徒理解学習の実施
 - ・食育の取組の実施
- (5) 家庭・地域社会との連携
 - ・他校に学校だよりを配布
 - ・地域に学校だよりを配布
 - ・「小中一貫教育だより」を校区の保護者対象に年3回発行
 - ・小中合同あいさつ運動への保護者の参加
- (6) 各中学校ブロック独自の目標
 - ・児童生徒交流の取組の充実を図る。
 - ・ことばの力、コミュニケーション能力の育成を図る。
 - ・南宇治中学校ブロックの取組を、保護者や地域に向けて積極的に発信する。

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・コーディネーター会の実施（4月28日、6月1日、6月26日、7月16日、8月28日、10月、11月、12月、1月、2月、3月）
- ・推進委員会の実施（5月12日、6月、7月2日、8月20日、12月、2月、3月）
- ・各専門部会（5月21日、8月20日、他）
- ・「ことばの力」育成プロジェクト会議の実施

イ 授業研究会の充実について

- ・公開授業参観（5月14日、5月21日、6月25日）
- ・小中連携加配教員による小学校6年理科の授業（通年）
- ・小小連携授業（宇治学部「帰国児童生徒理解学習」「宇治茶学習」、他）

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- ・学力充実部による学力テストの交流・分析
- ・新入生用「春休みの課題」作成

エ 宇治学の授業創りにについて

- ・小小連携授業（「帰国児童生徒理解学習」、「宇治茶学習」）

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・小中合同あいさつ運動への保護者の参加
- ・三校合同講演会の実施

(2) 教職員が交流する取組

- ・公開授業参観（5月14日、5月21日、6月25日）
- ・合同研修会（5月14日、5月21日、6月25日、8月20日）
- ・各専門部会（5月21日、8月20日、他）
- ・小中連携加配教員による小学6年理科の授業（通年）
- ・教職員対象小中一貫だよりの発行（年3回）

(3) 児童生徒が交流する取組

- ・小学6年生授業体験・部活動体験（10月22日）
- ・中学生による小学生クラブ活動指導支援
- ・地域清掃ボランティア活動（6月17日、12月1日）
- ・児童会生徒会合同会議（7月28日）
- ・児童会生徒会合同あいさつ運動

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・「いしずえ学習」ワークシートの活用
- ・西大久保小学校6年生対象「帰国外国人児童生徒理解学習」
- ・平盛小学校3年生対象「宇治茶学習」

(5) 保護者・地域向け啓発計画

- ・学校だより、ホームページに小中一貫教育の取組掲載
- ・小中一貫教育だよりの発行（年3回）
- ・小中一貫教育ニュース掲示板の活用
- ・小中一貫教育の項目を含めたアンケートの実施

(6) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）

〈環境教育〉

- ・環境学習の実施
- ・地域清掃ボランティア活動の合同実施（6月17日、12月1日）

〈特別支援教育〉

- ・特別支援教育に関する合同研修会（8月20日）

〈QUの実施〉

- ・QUの実施

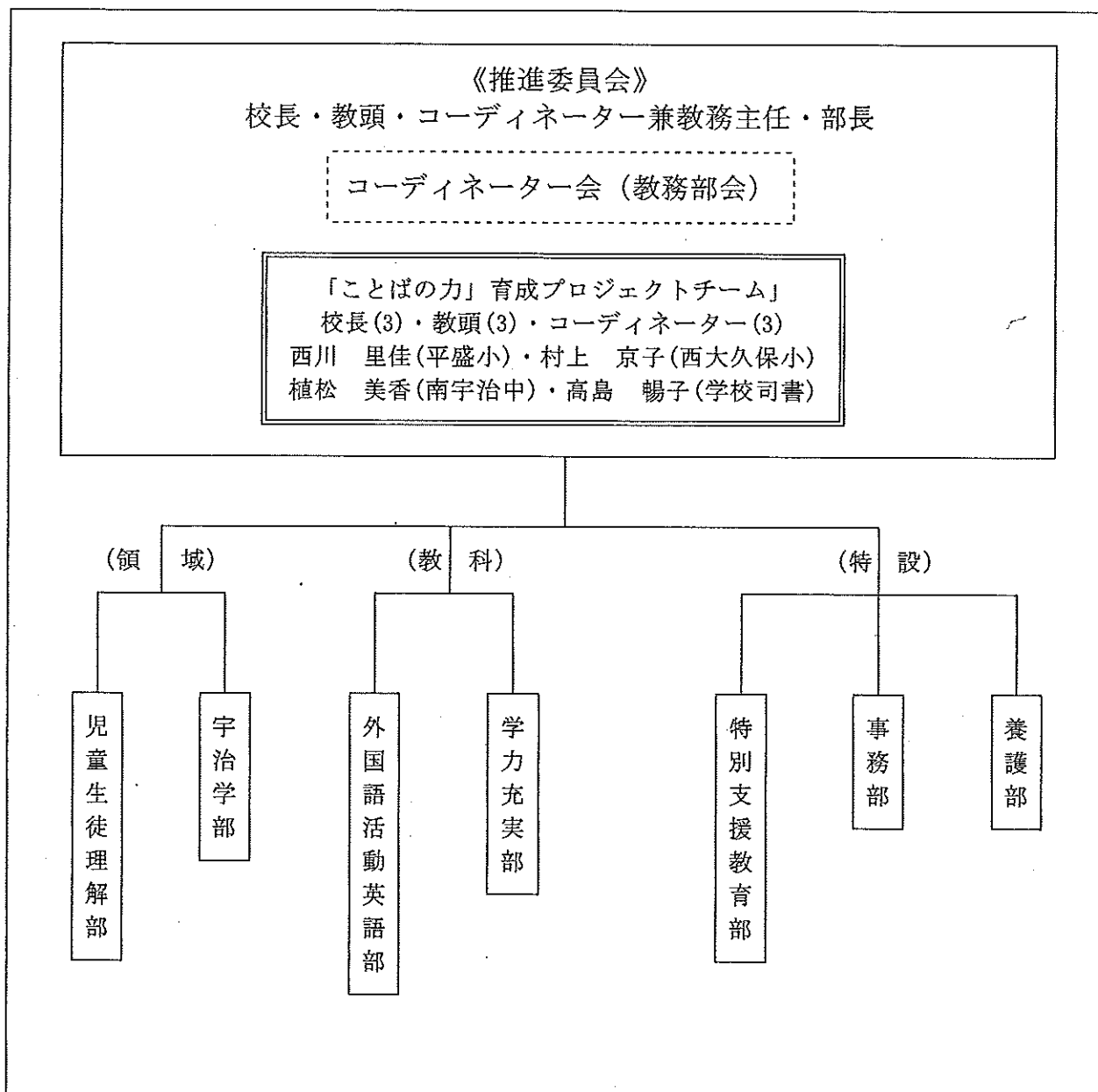
〈食育の推進と生活習慣の改善〉

- ・コーディネーター会、推進委員会における食育の取組の報告
- ・教職員対象小中一貫教育だよりの交流

〈帰国外国人生徒教育の推進〉

- ・西大久保小学校6年生対象帰国外国人児童生徒理解学習
- ・南宇治中学校・中国文化拳術部（中文拳）員と小学生との中国武術交流

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



平成27年度 広野中学校ブロック ジョイントプラン
 ー 小中一貫教育推進計画 ー

宇治市立	広 野	中学校	校 長	川 嶋	浩 司
宇治市立	大 久 保	小学校	校 長	松 居	博 之
宇治市立	大 開	小学校	校 長	村 田	正 直

小中一貫教育コーディネーター					
広 野 中 学 校	職 名	教 諭	氏 名	小 林	哲 也
大 久 保 小 学 校	職 名	教 諭	氏 名	天 花 寺	裕 ◎
大 開 小 学 校	職 名	教 諭	氏 名	立 原	隆 弥

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

<教育目標>

夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

<9年間で育てたい力（めざす児童生徒像）>

自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力

健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育の重点（中学校ブロックにおける重点取組）

◎今までの研究の成果・課題を整理して組織体制を見直し、研究内容・取組の精選を行い、より効果的な研究のスタイルを確立する。（無理なく、息長く、定着した取組に）

○宇治ひろの学園小中一貫教育の円滑な運営及び推進

- ・年間の計画（5月：総会 8月：合同研修会 3月：各校でまとめ）
- ・伝え合う力の育成のための教育活動の取組
- ・2小1中で協力した授業研究（小小の連携、小中の連携）
- ・児童生徒の交流・小学校教員と中学校教員の交流の充実
- ・各部会の取組の推進と内容の整理

○小小連携の充実

○保護者、地域への情報発信と啓発の充実

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1)中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施

- ・組織体制の見直しと各部会の取組内容の整理
- ・H26年度の成果と課題を整理した取組の推進
- ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施、点検・評価

(2)中学校ブロック推進体制の充実

- ・ブロック校長会議（学校運営部会）の実施（月1回以上）
- ・コーディネーター会議（事務局部会）の定期的な実施（月1回以上）
- ・各部会の組織的な活動の実施

(3)系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・教員の定期的な打合せの時間の確保
- ・各部会の校種をこえた組織的な活動の実施
- ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施（授業研への参加・交流）
- ・3校での夏季合同研修の実施
- ・小6の中学校体験学習での小中教員の合同での授業

- ・中学校教員の小学校体験研修 及び 小学校教員の中学校体験研修
- ・小学校教員の中学校部活動見学
- ・生徒指導交流と連携の充実（年間3回：学期1回）

(4)中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

- ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施(授業研への参加・交流)
- ・全国学力学習状況調査や京都府学力診断テスト、及びブロック独自で取り組むC R Tテストの結果の分析と課題解決に向けた取組の検討及び実施
- ・コーディネーター会議(事務局会議)の定期的な実施(月1回以上)
- ・児童生徒理解部会、特別支援教育部会の合同研修の計画及び実施
- ・中学校ブロック独自の生徒指導カルテの作成・引継
- ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度)
- ・福島ひまわりプロジェクトの実施
- ・3校児童生徒会合同での取組の充実(あいさつ運動、エコキャップ、プルトップの回収)
- ・中学生が小学校低学年への絵本の読み聞かせ、小学校クラブへのアシスタントティーチャーとしての参加
- ・小6の中学校体験学習での小小交流事業
- ・中学1年生による2小学校1年生への読み聞かせ(紙芝居)

(5)家庭・地域社会との連携

- ・HOOB(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者・地域への全戸配付
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・各校での行事を活用した積極的な情報発信
- ・3校合同の地域懇談会や保護者懇談会の計画及び実施
- ・小6の中学校体験学習の保護者参観
- ・大開っ子くらぶ(土曜日の活用事業)での広中生徒の参加

(6)夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

- ・授業につながる家庭学習の取組
- ・中学校教員の小学校体験研修による小中連携(小中教職員の交流)
- ・宇治ひろの学園としての小中一貫教育のスタイルの確立

4 平成27年度の実施計画

(1)重点目標に係る取組

ア 推進体制の充実について

- ・学校運営部会(3校長)
- ・合同部会
- ・コーディネーター会議(学園事務局会議)(月1回)

イ 授業研究会の充実について

- ・小学校学年部会(授業研の交流、参観)
- ・小6担任の中学校教科部会への参加
- ・夏季合同研での全国学力学習状況調査や京都府学力診断テスト、及びC R Tテストの結果分析の報告 など
- ・HOT-WEEK(中学校定期テスト前家庭学習週間)の実施
- ・中学校定期テストの回覧

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- ・小学校学年部会にて交流・実践・検証(総会5月、夏季合同研8月)
- ・小中接続の交流(夏季合同研8月)

エ 宇治学の授業創りについて

- ・小学校学年部会にて交流・実践・検証(総会5月、夏季合同研8月)
- ・7年間の年間計画の試行調整と実施

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・3校合同の地域懇談会(7月)

- ・ 3 校合同保護者懇談会(1 1 月)
- ・ 大久保小・大開小体育館での広野中吹奏楽部によるコンサート(2 学期)
- ・ 大久保青少協左義長(1 月)(大開小児童、広野中生徒の書き初めも回収)
- ・ 大久保青少協子どもの主張大会(2 月)(大開小児童、広野中生徒も参加)
- ・ 大開っ子くらぶへの広野中学校運動部からの参加(1 月)

(2)教職員が交流する取組内容

- ・ 宇治ひろの学園小中一貫教育研究会の開催
(5/18:総会, 8/19:合同研修会, 年度末総括は各校で行う)
- ・ 各部会の開催
- ・ 小一小の学年主任・代表者会を設置、学年部会の定期開催
- ・ 中学校の部活動への小学校教員の参観
- ・ 小6の中学校体験学習での小中教員の合同での授業
- ・ 中学校教員の小学校体験研修
- ・ 小学校教員の中学校部活動見学 など

(3)児童生徒が交流する取組内容

- ・ HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度)
- ・ 3 校でのエコキャップ、プルトップの回収
- ・ 3 校での「福島ひまわり里親プロジェクト」参加
- ・ 広野中ちよいボラへの大開小児童の参加
- ・ 3 校合同あいさつ運動の実施
- ・ 中学1年生が小学1年生への絵本の読み聞かせ
- ・ 中学生が小学校クラブへのアシスタントティーチャーとしての参加 など
- ・ 小学6年生の中学校部活動見学

(4)「いしずえ学習」「宇治学」の取組内容

- ・ 3 校での朝読書の実施や中学1年生での振りスタの実施(いしずえ)
- ・ 7 年間の年間計画の試行調整と実施(宇治学) など

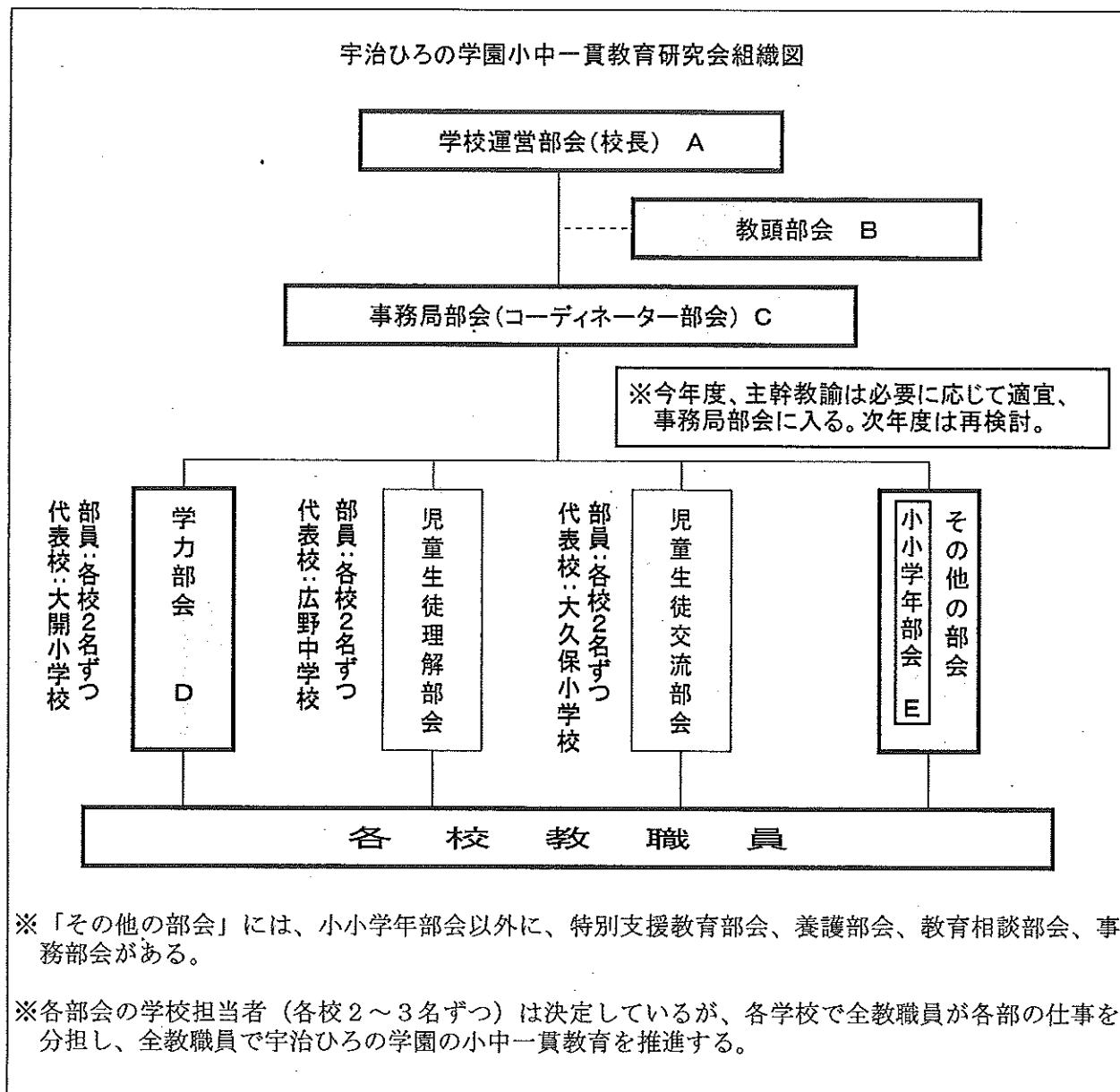
(5)保護者・地域向け啓発計画

- ・ H00P(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者・地域への全戸配付
- ・ 各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・ 各校での行事を活用して積極的に情報発信する。
- ・ 宇治ひろの学園及び3校のホームページの更新・活用 など

(6)その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容 等)

- ・ 中学校ブロック独自の生徒指導カルテの作成・引継
- ・ HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度)
- ・ 福島ひまわりプロジェクトの実施
- ・ 3 校児童生徒会合同での取組の充実(あいさつ運動、エコキャップ、プルトップの回収)
- ・ 中学生が小学校低学年への絵本の読み聞かせ、小学校クラブへのアシスタントティーチャーとしての参加
- ・ 小6の中学校体験学習での小小交流事業
- ・ 中学1年生による2小学校1年生への読み聞かせ(紙芝居)
- ・ 大久保小・大開小体育館での広野中吹奏楽部によるコンサート(2 学期)
- ・ 大久保青少協左義長(1 月)(大開小児童、広野中生徒の書き初めも回収)
- ・ 大久保青少協子どもの主張大会(2 月)(大開小児童、広野中生徒も参加)
- ・ 大開っ子くらぶへの広野中学校運動部からの参加(1 月)

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



平成27年度 東宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立東宇治中学校	校長	久保田正宏
宇治市立岡屋小学校	校長	小田 康博
宇治市立南部小学校	校長	筒井 眞代
宇治市立三室戸小学校	校長	吉永 均

小中一貫教育コーディネーター

◎ 南部小学校	氏名	小谷 実
東宇治中学校	氏名	肥川 正志
三室戸小学校	氏名	小林 陽子
岡屋小学校	氏名	丸尾 章弘

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

教育目標

「命を輝かす人間」

めざす児童・生徒像

「自ら学び学習する児童・生徒」

「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」

「健康や安全を考える児童・生徒」

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

○小中一貫教育実施3年間の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、確かな学力と生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、取組の点検・評価・改善を図る。

○「ブロック運営委員会」や「推進三部会」を推進の要とした推進組織体制（後掲）を継続し、チーフコーディネーターが各校コーディネーターと連携・協力をしながら、ブロックとしての小中一貫教育を推進する。

○3小学校の小小連携や小中合同授業研究の充実を図る。

○地域ぐるみで児童・生徒を育て、高める視点を持ち、地域・PTA（育友会）行事への参画や家庭・地域への情報発信を積極的に行う。

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
定期的に、ブロック運営委員会やブロック校長会議、コーディネーター会議を開催し、取組の点検・評価・改善を図ると共に、推進組織体制の機能性についても検証していく。

(2) 中学校ブロック推進体制の充実

ブロック校長会議を中心に、教頭・コーディネーター・小中連携教員で組織するブロック運営委員会で、推進の方向性を確認しながら、取組の進行管理を行う。また、ブロック校長会議とコーディネーター会議との連携の充実を図る。

(3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

年間を通して、小中合同研修会(合同研究授業を含む)や推進3部会(児童生徒交流部・児童生徒理解部・児童生徒学力充実部)で、本ブロックの児童生徒の課題に対応したテーマや小中の接続の課題について研修を行い、系統的・継続的な指導の充実を図る。また、小小連携を推進し、小中一貫教育の基盤の充実を図る。

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

3小1中での交流や1小1中での交流など、様々な形態を工夫しながら、児童生徒交流の取組を進める。

(5) 家庭・地域社会との連携

定期的に小中一貫教育だよりを配布したり、各校の学校便り等で小中一貫教育の取組を広報したり、情報発信を積極的に進める。また、ブロック共通の「家庭学習の手引き」を発行し、家庭に協力を求めることを通して、家庭との連携を強化する。

(6) 各中学校ブロック独自の目標

東宇治中ブロックの児童生徒の学力課題や生活課題を明らかにし、それらを踏まえた取組の改善を進める。

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進体制の充実について

- ・ブロック校長会議を毎月開催
- ・コーディネーター会議の定期的開催
- ・ブロック校長会議とコーディネーター会議の連携強化
- ・教職員広報の発行

イ 授業研究会の充実について

- ・相互参観授業の実施(6月12日・16日)
- ・事前研究(6月12日・8月21日)―授業公開(11月19日)―事後研究(11月19日)のサイクルによる授業研究会の実施

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- ・新教科書と宇治スタンダードを活用した指導観の共有(8月21日)

エ 宇治学の授業創りにについて

- ・各校の宇治学内容交流(コーディネーター会議・児童生徒学力充実部会)
- ・探究的、協同的な学習の在り方についての研修(小小合同研修会)
- ・「宇治学」の育てたい力(観点)の統一化に向けた検討(コーディネーター会議)

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・PTA(育友会)合同研修会
- ・おおぼくまつりへの協力
- ・小中一貫教育リーフレットの配布(小学校新入生・転入生)
- ・小中一貫だよりの発行(小・中学校の保護者・地域に配布、掲示)
- ・ブロック校の学校だよりを学校内掲示
- ・「家庭学習の手引き」の配布と協力依頼
- ・小中連携教員による外国語活動の保護者公開

(2) 教職員が交流する取組

- ・小中合同研修会 6月12日 中学授業参観+全体会(午後部)+授業研(事前研)
8月21日 全体会(ブロック部)+3部会+授業研(事前研)
11月19日 研究授業+授業研(事後研)
- ・中学校からの小学校授業参観(6月16日)
- ・小学校からの中学校授業参観(6月12日)
- ・中学校1年ふり返りスタディへの小学校教員の支援参加(1学期)
- ・推進3部会(8月21日)
- ・小中連絡会(5月19日・2学期・3学期)
- ・教育相談、生徒指導担当者会議(学期1回程度)
- ・3小学校合同研修会(8月)
- ・小中連携教員(中学校英語科)による小学校6年外国語活動指導
- ・ブロック学校便りの教職員配布
- ・教職員広報の発行

(3) 児童生徒が交流する取組

- ・小学生の中学校体験入学(11月12日)
- ・エコキャップ回収(年間を通して取り組み、回収セレモニーを2月に実施)
- ・部活交流(駅伝の指導)
- ・育友会行事交流(冬のお楽しみ会でのイベント)
- ・ちょぼラプランター贈呈(年2回)
- ・中学2年の3小学校での職場体験(5月28日・29日)
- ・中学生美術作品の小学校巡回展示

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・「いしずえ学習」計画の作成と実施、検証
- ・「宇治学」の実施、検証と年間指導計画の見直し

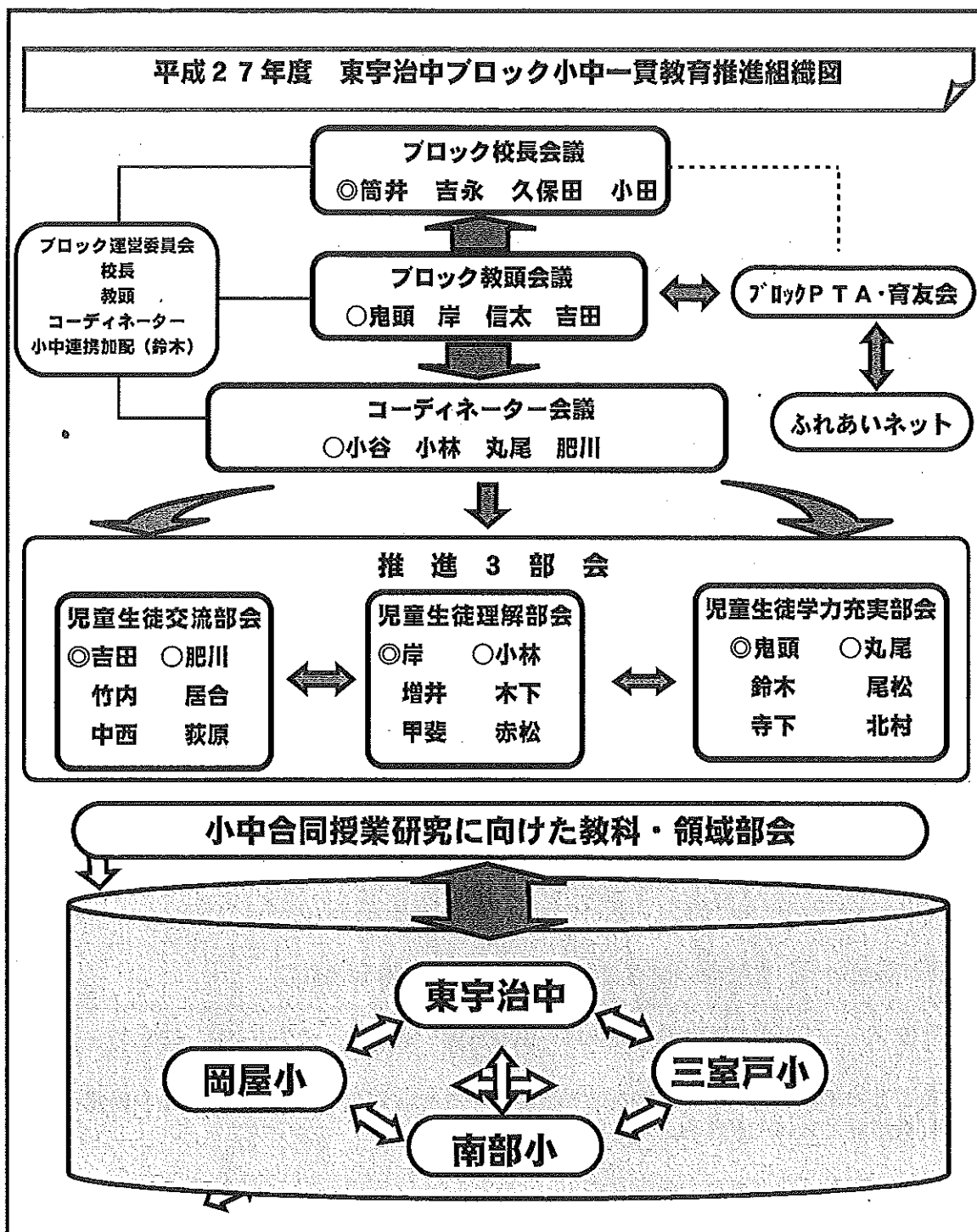
(5) 保護者・地域向け啓発計画

- ・PTA(育友会)合同研修会
- ・おおばくまつりへの協力
- ・小中一貫教育リーフレットの配布(小学校新入生・転入生)
- ・小中一貫だよりの発行(小・中学校の保護者・地域に配布、掲示)
- ・ブロック校の学校だよりを学校内掲示
- ・「家庭学習の手引き」の配布と協力依頼
- ・小中連携教員による外国語活動の保護者公開

(6) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

- ・京都府学力診断テスト(中1を中心に)結果の分析と課題克服に向けた取組の充実
- ・共通の授業のルールや授業システムの導入

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



※役割分担

ブロック校長部会
ブロック教頭部会
コーディネーター部会
児童生徒交流部会
児童生徒理解部会
児童生徒学力充実部会

教育目標、推進の方向性の提示
広報、地域・PTA育友会との連携
教育課程、年間指導計画、具体的な取組の企画・運営
児童生徒交流事業の推進
生徒指導、教育相談、特別支援教育に関わる研究及び取組の推進
学力の充実・向上に関わる研究及び取組の推進

※小中合同研究授業に向けて、以下の中から5～6の教科・領域部会を別途設定する。

○宇治学部会 ○道徳部会 ○算数・数学部会 ○国語部会 ○社会部会 ○理科部会
○外国語・英語部会 ○図工・美術部会 ○技術・家庭部会 ○体育部会 ○音楽部会等

平成27年度 木幡中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立木幡中学校	校長	南	享
宇治市立御蔵山小学校	校長	小畑	隆
宇治市立木幡小学校	校長	八木	章
宇治市立笠取小学校	校長	小山	行雄
宇治市立笠取第二小学校	校長	岩井	浩

小中一貫教育コーディネーター

(木幡)中学校	氏名	植木	昭人
(木幡)中学校	氏名	石田	京美
(御蔵山)小学校	氏名	田中	和枝
(木幡)小学校	氏名	西村	浩
(笠取)小学校	氏名	赤野	良英
(笠取第二)小学校	氏名	石田	博之

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

木幡中ブロック教育目標

「故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」

2 平成27年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

- ・木幡中ブロック小中一貫教育推進委員会を中心に組織的な取組をおこなう。
- ・研究の方向性に沿って取組計画を立て、教職員や児童生徒の交流事業や合同事業をすすめる。
- ・8つの教科部会で、授業研究をすすめる。
- ・6つの領域連絡会で、小中の系統的、継続的な指導をすすめる。
- ・児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動をすすめる。

3 平成27年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施

部会ごとのアンケートをもとに推進委員会の中で総括する。その中で、成果や課題を明らかにし次年度に有効な方向をさぐる。

(2) 中学校ブロック推進体制の充実

ブロック校長会、教頭会と小中一貫教育推進委員会を常にリンクさせ、計画的に取組を推進する。6領域連絡会および8教科部会の定例化を図り特色のある取組を推進する。

(3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・中学校保健体育科教員による全小学校での授業（通年、毎週）を実施する。
- ・へき地校を含んだ小小連携授業を実施する。
- ・合同研修会を通して小中教員のTTによる指導案の作成から研究授業を行う。（11月20日）
- ・小中が継続的に一貫した目標で取り組む事で小中のなめらかな接続を図る。
- ・各小学校において積極的に教科担当制を取り入れる。

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の充実

- ・各校の学校行事の計画段階で一貫教育を意識した取組を計画的、有効的に組み込む。
- ・年間3回の小中教員の合同研修会実施（6月10日、8月20日、11月20日）を柱にそれに向けて各部長を中心とした代表者会を継続的に行う。
- ・各領域連絡会の定例化を図り取組を積極的にすすめていく。
- ・学習の手引きを作成し配布する。

(5) 家庭・地域社会との連携

- ・各校に小中一貫コーナーを設置し各種通信等を掲示する。
- ・「小中一貫教育通信」（保護者、児童生徒向け）（教職員向け）を定期発行する。
- ・中学校の「生活だより」（毎月発行）を全6年生に配布する。
- ・ホームページ等の活用。

(6) 各中学校ブロック独自の目標

- ・研究の具体的な方向性を掲げる。
どの教科も通じる「学び合い」「ことばの力」を大切にした授業にしていける。
- ・3回の小中合同研修会を柱に教科部会と領域連絡会の両方が研究を深め取り組みを進める。
全教職員が、教科部会または領域連絡会に所属する。

4 平成27年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進体制の充実について

年度当初から領域と教科の部会を立ち上げ、組織的に取組む。

イ 授業研究会の充実について

小中合同授業に向けて、年間を通して計画的、組織的に見通しを持って取組む。

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

義務教育9年間の見通しをもった年間計画を作成実践し年度末の総括を次年度に発展的に申し送る。

エ 宇治学の授業創りについて

地域社会の一員としての自覚を持ち、小学校3年生から中学校3年生までの7年間系統的なめあての元、「宇治で学び・宇治を学ぶ・宇治のために学ぶ」を実践する。

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

学校だより等の掲示や配布による啓発に取組む。中学校を会場とした秋祭り「おもろいやんか木幡」で、ブロックの取組みを紹介する。

(2) 教職員が交流する取組

①小中合同研修会の実施

第1回 6月10日（水） 於 木幡中学校「学びの森」参観

第2回 8月20日（木） 於 木幡小学校「学びの森の実践から学ぶ」

※午前で実施

第3回 11月20日（金） 於 御蔵山小学校「研究授業公開」

②小中合同授業研究の実施

ア. 中学校「学びの森」授業研究会への小学校教員の参加

6月10日（水） 第1回合同研修会の中で全小学校教師の授業参観を行う

イ. 小中連携加配教員（保健体育）による保健体育科授業の指導

各小学校6年生週1時間（笠取、笠取二小は隔週）

- ③中学校3年担当教員の6年生クラスの参観
3学期、2月頃実施（小学校との調整で日程決定）

- ④中学1年担当と旧6年生担当との連絡会の実施
5月12日（火）授業参観と懇談実施

- ⑤小学校教員の中学校合唱コンクールへの参加
9月30日（水）宇治市文化センター

(3) 児童生徒が交流する取組

- ①小学生の中学校への体験入学
11月12日（木）歓迎行事の取り組み、部活動の体験
- ②中学生の部活動単位での交流
 - ・陸上部による駅伝指導
 - ・吹奏楽部による小学校での発表会
 - ・美術部による小学校作品展への展示発表

- ③児童会、生徒会の交流
 - ・小学校児童会本部役員会と中学校生徒会本部役員会が集まり交流会を実施

- ④三校交流による小小連携の取り組み
6月24日（水）御蔵山小、笠取小、笠取第二小
11月11日（水）木幡小、笠取小、笠取第二小

(4) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ①ブロックで作成した「宇治学」実施計画にしたがい実施。
- ②いしずえ学習の実施計画を検討する。

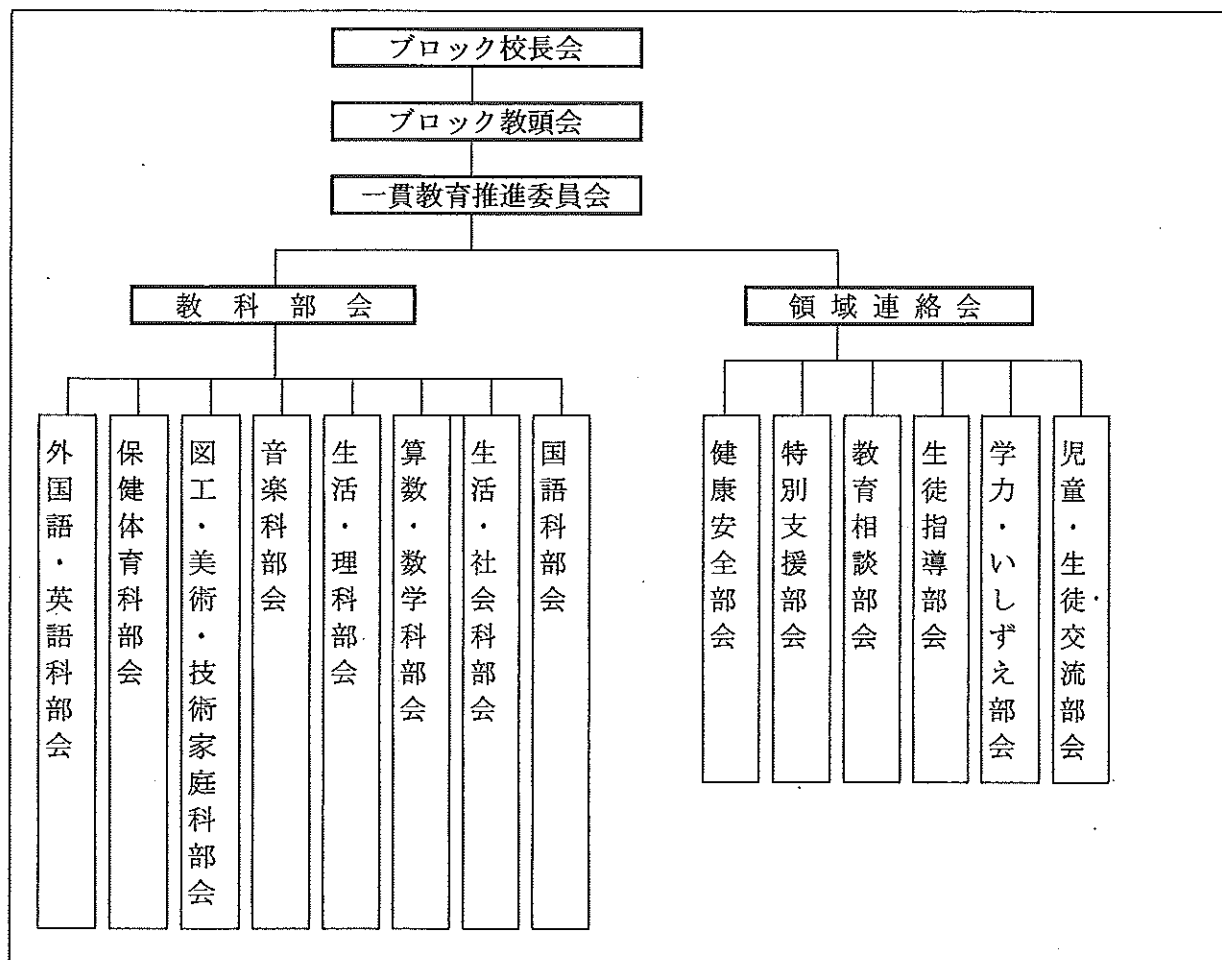
(5) 保護者・地域向け啓発計画

- ①各校の掲示板に交流コーナーを置き、他校の学校だよりなどを掲示する
- ②中学校の学校だより、生活だよりを全6年生へ配布する
- ③小中一貫教育通信の発行

(6) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）

児童生徒、教員、保護者へのアンケートなどを通してよりスムーズな接続を目指す

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図



平成 27 年度 宇治黄檗学園中学校ブロック ジョイントプラン

ー 小中一貫教育推進計画 ー

宇治市立黄檗中学校 校長 石田 光春

宇治市立宇治小学校 校長 石田 光春

小中一貫教育コーディネーター

(黄檗) 中学校 氏名 齋藤 英司

◎(宇治) 小学校 氏名 葛山 雅

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

(1) 校訓

「たかく」 高い志を持って、学びの道を究める人

「すずしく」 さわやかな心、優しい心を持った人

「たくましく」 強い意志を持って、人生を切り拓く人

(2) 教育目標

高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する。

(3) めざす児童生徒像

- ・高い志を持って、学びの道を究める人（質の高い学力）
- ・さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
- ・強い意志を持って、人生を切り拓く人（意欲や情熱、健康な体）

2 平成 27 年度年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

小中一貫教育の推進 ～意欲的・主体的な「ことばの学び」を通して、質の高い学力と豊かな人間性や社会性を育てる教育活動の創造～

3 平成 27 年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施

小中で一つの組織と考え、打ち合わせ・職員会議・研修会を小中合同で行う。その中で、適切な小中一貫教育推進のために、教職員の情報交換と意思統一を確実にを行い、随時、計画・取組についての点検・評価を行っていく。

(2) 中学校ブロック推進体制の充実

企画委員会、前期主任会、中後期主任会等の会議を設置し、ステージ毎の学習内容・生徒指導についての意見交換、指導方針の確認等を行っていく。その中で、小中一貫コーディネーターがパイプ役となり、前期・中後期主任会それぞれでの会議内容の共有化を図っていく。

(3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

〈学習指導〉

教育課程編成における 3 学年部（4・3・2 制）の促進と相互連携の研究や発達段階に応じた指導法の開発を行う。

〈生徒指導〉

9 年間の継続的な生徒指導を進めるために、生徒指導部長、主任、学年主任を中心にした生徒指導を進める。課題を小中で共有化し、規範意識の確立と自尊感情の醸成を行う

(4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

共に学び、共に活動できる児童生徒を目指して、異年齢集団活動を実施する。児童会、生徒会それぞれに独立した組織づくりではなく、学園会を組織して、小学生、中学生という枠組みを超えた学園の一員であるという意識を育む。

(5) 家庭・地域社会との連携

育友会行事への教職員・部活動生徒の積極的な参加、学園会による地域の方々へのアンケートの実施、地域懇談会への教職員の参加、親のための進路セミナーの開催を通して家庭・地域社会との連携を深める。

(6) 9年間を通じた自己実現力の育成～意欲的・主体的な「ことばの学び」を通して、質の高い学力を育成する。

- ア 「ことばの学び」心と体を動かし、伝え合う力を高め、言語感覚を磨く指導の工夫。
- イ 系統立てた学習指導における基礎学力の定着。

4 平成 27 年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- 企画委員会 … 校長、副校長、教頭、主幹教諭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、各部提案担当者
- 前期主任会 … 副校長、教頭（小）、主幹教諭（生徒指導担当）、教務主任（小）、小中一貫コーディネーター、1・2・3・4年学年主任
- 中後期主任会… 副校長、教頭（中）、教務主任（中）、生徒指導主任、小中一貫コーディネータ、5・6・7・8・9年学年主任

イ 授業研究会の充実について

- 小中合同での理論研修会を実施
- 小中合同の教科部会を中心とした授業参観の実施
- 小中合同の教科部会を中心とした重点指導事項の決定
- ステージ毎の授業研究会の実施
- ステージ毎の授業重点事項の開発
- 小中合同での授業重点事項の共有化

ウ 宇治スタンダードの実践・検証・作成・充実について

- 4月当初に目標・具体的方策を決定し実践
- 10月末に中間評価を提出し、検証・作成・充実を進める。
- 1月末に年度末総括を行い、2月に次年度に向けての改善策をまとめる。

エ 宇治学の授業創りにについて

- 児童生徒に育てたい力を明確にし、単元を通して主体的・創造的・協同的に問題を解決する活動を位置づけ指導を進める。

オ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- 学園会による、地域の方々へのアンケートの実施
- 育友会行事への部活動生徒の積極的な参加
- 実践報告会の実施
- 保護者のための進路セミナーの実施

(2) 教職員が交流する取組

- 小中合同での理論研修会を実施
- 小中合同の教科部会を中心とした授業参観の実施
- 小中合同の教科部会を中心とした単元指導系統表の作成
- ステージ毎の授業研究会の実施
- ステージ毎の授業重点事項の開発
- 小中合同での授業重点事項の共有化

(3) 児童生徒が交流する取組

- 黄檗ウォーカー（1年生と9年生の交流。入学間もない1年生に、9年生が校内の案内を行う。）
- 校種別体育大会内での児童・生徒交流、相互参観
- 校種別文化祭内での児童・生徒交流、相互参観
- OBAKU ミーティング（進級を控えた6年生の不安や疑問に、7年生が膝をつき合わせて本音で答える。）
- 学園会（児童・生徒会）組織づくり
- ※ この他にも、施設一体型小中一貫校の特色を生かす取組を随時検討、実行していく。

(4) 「宇治学」「いしずえ学習」の取組

「宇治学」きずな科…異年齢集団興味・関心課題探求活動

- ◎ 第7学年～第5学年のグループで課題探求活動に取り組む
- 第7学年をリーダーとする異年齢グループで活動する
- 興味・関心課題をグループ毎に選択-探求活動-まとめ-発表・発信する

「いしずえ学習」

宇治小学校

- 朝学習（毎日始業前10分間の「いしずえタイム」）全児童対象（読書を含む国語と算数の基礎的基本的な学習）学級単位で原則担任が指導する
- 「ぐんぐんタイム」の設定（3～6年生）
（クラブ・委員会のない金曜日6校時に行う）
- 算数の授業開始時に3分間の計算タイムを入れる（学年で単元の学習計画との兼ね合いで実施を検討）

黄檗中学校

- 朝学活の中の「いしずえタイム」で、読書などの活動を行う
- ふりスタ（夏季休業中に、抽出・希望生徒対象、学年、学生ボランティア等全校体制で行う）
- 定期テスト前の放課後の個別支援学習（学年教師、学生ボランティアで）

(5) 保護者・地域向け啓発計画

- 実践報告会を実施
- 様々な行事で、小中交流する機会をつくり、その意義と成果を示す。
- HPや広報誌で、具体的な取組内容を紹介する。

(6) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）

- 9年間を通した自己実現力の育成
- ステージに応じた学習方法の改善
- 「ことばの学び」の充実、英語教育の早期化・教科化・高度化へ向けての研修

5 平成27年度小中一貫教育を推進する組織図

平成27年度校務分掌 宇治黄檗学園(宇治市立宇治小学校・黄檗中学校)

2015/4/27

諸会議・委員会

職員会議
企画委員会
学年主任会
学校安全委員会
特別支援教育・教育相談校内委員会
学校保健会
給食運営委員会
いじめ対策委員会
安全衛生委員会
学園体育大会実行委員会
学園文化祭実行委員会
英語教育推進委員会

会議の設定

●月内における会議設定

①領域A

学力充実・生徒指導・特別支援教育・特別活動・教育相談

②領域B

教科部会・教科主任会

専門教育

道德、人権教育、キャリア教育、環境教育、図書館教育、
情報教育、食育教育、健康安全教育、国際理解教育、宇治学

③企画委員会

④職員会議

●その他の会議設定

①前期主任会

小教頭・主幹・小教務・学年主任

②中後期主任会…毎週火曜1校時

副校長・中教頭・主幹・小教務・中教務・生指主任・学年主任・養教

教務部	教育課程
	時間割
	成績・通知表
	学事
	調査・統計・記録
	研修計画・現職教育
	教科書・副読本
	証明書
	初任者指導
	教育広報

研究部	A 学力充実	B 教科主任会	B 国語
	専門教育		B 社会
			B 算数・数学
			B 理科
			B 生活
			B 音楽
			B 図画工作・美術
			B 家庭・技術・家庭
			B 体育・保健体育
			B 外国語活動・英語
			B 道徳教育
			B 人権教育
			B キャリア教育
			B 環境教育
			B 図書館教育
			B 情報教育
			B 食教育
			B 健康安全教育
			B 国際理解教育
			B 総合的な学習

指導部	A 生徒指導部
	A 教育相談部
	A 特別支援教育部
	A 特別活動部
	B 進路指導部
	B 部活動

学級活動
学園会活動
クラブ活動

委員会・事業部活動

学習部
体育委員会
環境委員会
図書委員会
放送委員会
給食委員会
保健委員会
掲示委員会

部活動指導

野球
バレーボール 男子
バレーボール 女子
ソフトテニス 男子
ソフトテニス 女子
卓球
サッカー
陸上競技
バドミントン
吹奏楽
科学
美術

総務部	管理	施設・設備・備品
		庶務
		経理

青少協
教育後援会
安全連絡会
体育振興会

総務部	渉外	地域諸団体
		教職大学・院連協
		市就学相談
		市小教研・中教研
		市小体連・中体連
		生推協
		学体連
		互助組合
		育友会本部

渉外・庶務
校外生活部
広報部
文化部
保健厚生部
環境整備部
選挙管理本部
会計

生活指導委員会

同人会
マイカークラブ